

国立奈良工業高等専門学校
一般教科 国語

井上 次夫

損者七友、益者三友

同窓会員の皆さま、初めまして。

私は、平成25年4月から高専間人事交流制度により小山高専から奈良高専に着任している井上次夫と申します。

所属は一般教科で、現在、3年生の国語を担当しています。

さて、高専国語は限られた時間しかないのですが、国語は本来、人として生きるための素養を培ってくれる側面があり、その源は古典に求めることができると私は考えています。学生時代はピンとは来なかった古典でも、社会人となった現在ならば、これまでの人生経験により古典の味わいも深まります。

例えば、今、吉田兼好『徒然草』117段の友人論を、現在の皆さんの立場で考えてみていただければと思います。



【友とするにわろき者：7種類】

- ①身分が高い人、②若い人、③病気がなく強健な人、
- ④酒を好む人、⑤勇ましい武人、⑥嘘をつく人、
- ⑦欲の深い人

【友とするによき者：3種類】

- ①物をくれる人、②医師（くすし）、③知恵のある人

「これは！」と思うものがあれば、古典に価値あり、です。

どうぞよろしく申し上げます。